

社会経済思想Ⅱ 期末試験

設問Ⅰ マーク・シートの解答用紙を使用すること(【1】～【50】は問題の番号を、①～⑩は選択肢の数字を表している)。

以下の【1】～【30】はすべて「講義資料」のプリントからの抜粋だが、句読点や省略箇所などを若干変更したものもある。【1】～【15】についてはその著者(手紙なら差出人)の<肖像>を、【16】～【30】についてはその出典の<原題>を選びなさい。また、文中の空欄部分 に相応する原語(板書や口頭で補足した場合もある)を、【31】～【40】については<語群 A>から、【41】～【50】については<語群 B>から選びなさい。

- 【1】 《貨幣は 【31】 の血液である。》
- 【2】 《商業の歴史は人民の交流の歴史である。》
- 【3】 《私は 【32】 を破壊的な川の一つにたとえる。》
- 【4】 《国家理性は 【33】 の理由とほとんど異ならぬ。》
- 【5】 《貴族が君主政において商業を営むのは、君主政の精神に反している。》
- 【6】 《諸政治国家のそとには、各人の各人に対する 【34】 がつねに存在する。》
- 【7】 《人間は自由なものとして生まれたが、しかもいたるところで鎖につながれている。》
- 【8】 《詐欺を知らない商売や地位はなくて、いかなる 【35】 にも欺瞞があったのだ。》
- 【9】 《かように各部分は 【36】 に満ちていたが、全部そろえばまさに天国であった。》
- 【10】 《ふたつの原理が、人びとを市民社会にはいらせる。それらをわれわれは、権威の原理と 【37】 の原理とよぶことにする。》
- 【11】 《青春はなんとまた美しいかな、／なんとまた淡くはかなく消ゆるかな。／歓楽に溺れる人は、溺れな、／明日のこと定めある身と誰か知るかな。》
- 【12】 《精神のない専門人、心情のない享楽人。この 【38】 は、人間性のかつて達したことのない段階にまですでに登りつめた、と自惚れるだろう。》
- 【13】 《大地と人間以下のすべての被造物はすべての人々の共有物であるが、しかしすべての人間は、自分自身の身体に対する 【39】 をもっている。》
- 【14】 《 【32】 の定めにより絹織物業のことも毛織物業のことも損得勘定のことも皆目わからない私には、 【40】 を語るのが性に合っているのです。》

【15】《ある土地に囲いをして、「これはおれのものだ」というのを最初に思いつき、それを信じてしまうほど単純な人々を見つけた人こそ、政治社会の真の創業者であった。》

<肖像>(数字は生没年)

①1449-1492



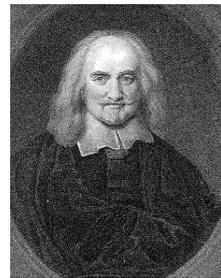
②1469-1527



③1544-1617



④1588-1679



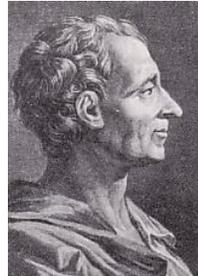
⑤1632-1704



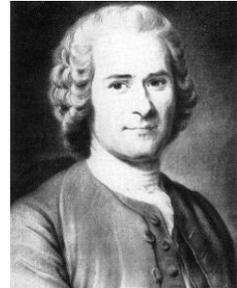
⑥1670-1733



⑦1689-1755



⑧1712-1778



⑨1723-1790



⑩1864-1920



<語群A>

- ①Calling ②Common-Wealth
 ③Fortuna ④Interesse
 ⑤Nichts ⑥Property ⑦Stato
 ⑧Utility ⑨Vice ⑩Warre

- 【16】 《金は悪魔の言葉であり、これによって世のすべての物が創られる。》
- 【17】 《 [41] と知識と [42] とは、解き離し難い鎖でつなぎ合わされている……。》
- 【18】 《 [43] は、どんな権力にも、どんな責任にも、どんな時代にも制約されることはない。》
- 【19】 《社会のためにやるのだと称して商売をしている徒輩が、社会の福祉を真に増進したというような話は、いまだかつて聞いたことがない。》
- 【20】 《もしも政府に服従しなければならない義務の理由を問われたら、わたくしは、即座に、そうしなければ社会が存続できないからだ、と答える。》
- 【21】 《箱の中へ投げ入れられた金が音を立てるや否や、魂が [44] から飛び上がるという人たちは、人間(のつくりごと)を述べ伝えているのである。》
- 【22】 《しかし、残念ながら、人間を導いているのは [45] であり、立法者がなすべきことは、もっぱらその [45] を社会の利益になるように導くことである。》
- 【23】 《アダムよ、……おまえは、いかなる束縛によっても制限されず、私がおまえをその手中に委ねたおまえの [46] に従っておまえの本性を決定すべきである。》
- 【24】 《大ブリテンの法律は、各個人に自分の労働の成果を享有することを保障しているが、この保障さえあれば、他に商業上の不条理な規制が幾多あろうとも、すべての国を繁栄させるのに十分である。》
- 【25】 《われわれは [47] によって人々を労働に導くこともできる。しかしこの [47] が、労働者の必要を充たすのに充分なくらい流通しなければ、それは実行不可能であろう。こう考えると、 [47] は貨幣である。》
- 【26】 《中流および下流の、生活上の地位においては、徳性への道と、財産への道、少なくともそういう地位にある人びとが、獲得することを期待しても妥当であるような財産への道は、幸福なことに、たいいていばあい、ほとんど同一である。》
- 【27】 《だから、慈恵は [48] よりも、社会の存在にとって、不可欠ではない。……それは、建物を美しくする装飾であって、建物をささえる土台ではなく、したがってそれは、すすめれば十分であり、けっしておしつける必要はないのである。》
- 【28】 《われわれが自分の食事をとるのは、肉屋や酒屋やパン屋の博愛心によるのではなくて、かれら自身の利害にたいするかれらの関心による。われわれが呼びかけるのは、かれらの [42] にたいしてではなく、かれらの [49] にたいしてであり、われわれがかれらに語るのはわれわれ自

身の必要についてではなく、かれらの利益についてである。》

- 【29】《もしも神があなたがたに、(みずからの魂も他の人々の魂も損なうことなく)合法的に、しかも、他の方法によるよりもいっそう多くを利得しうるような方法を示したもうた場合、もしもそれを避けて利得の少ない方法をえらぶとすれば、あなたがたはみずからに対する 【35】 の目的の一つに逆らい、神の 【50】 としてその賜物を受け取って、神の求めたもうとときにそれをかれのために用いることを拒むことになる。》
- 【30】《自然がこのようにしてわれわれをだますのは、いいことである。人類の 【41】 をかきたて、継続的に運動させておくのは、この欺瞞である。……かれら[富裕な人々]は、見えない手に導かれて、大地がそのすべての住民のあいだで平等な部分に分割されていたばあいに、なされたであろうのとはほぼ同一の、生活必需品の分配をおこなうのであり、こうして、それを意図することなく、それを知ることなしに、社会の利益をおしすすめ、種の増殖にたいする手段を提供するのである。》

<原題>(数字は出版年)

- ① *De Homini Dignitate*, 1496
- ② *Disputatio pro Declaratione Virtutis Indulgentiarum*, 1517
- ③ *Tischreden*, 1556
- ④ *Les Six Livres de la République*, 1576
- ⑤ *Christian Directory*, 1673
- ⑥ *Money and Trade Considerd, with a Proposal for Supplying the Nation with Money*, 1705
- ⑦ *Essai Politique sur le Commerce*, 1734
- ⑧ *Political Discourses*, 1752
- ⑨ *The Theory of Moral Sentiments*, 1759
- ⑩ *An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations*, 1776

<語群 B>

- ① Arbitrium
- ② Credit
- ③ Humanity
- ④ Industry
- ⑤ Justice
- ⑥ Passions
- ⑦ Purgatorium
- ⑧ Self-love
- ⑨ Souveraineté
- ⑩ Steward

設問Ⅱ 論述用の解答用紙を使用すること。弁解や嘆願は「不可」、白紙答案(学籍番号・氏名等は必ず記入)は「欠席」とする。

経済学の形成に対して、「共和主義」「国家理性論」「プロテスタンティズム」「社会契約説」「奢侈論争」はどのように影響したか、具体的な事例を挙げて、できるだけ詳しく論じなさい。

- * 本文の前に論旨をアピールするようなタイトルを付けること。
また、(上の 5 つ以外でも)本文中のキーワードは下線で強調すること。
- ** **設問Ⅰ** で出題された文章を使う場合は、必ずその背景や意義を説明すること(ただ書き写すだけでは無効)。なお、答案の文中では、<肖像>の人名はカタカナで表記、<原題>の書名も日本語訳すること。出題されなかった文章はもちろん、担当者が講義で取りあげたり、あなたが関連して繙いたりした、他の一次資料(思想家の著作)や二次文献(研究書)にもなるべく多く言及することが望ましい。